

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズルームひまわり		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	39名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 23名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・お子さん一人ひとりの発達に合わせた支援	・同じ活動においても、お子さんたち一人ひとりに合った内容を検討し実行している。 ・保護者からニーズの聞き取りを行う中で、お子さん一人ひとりの発達段階を踏まえたうえで、目標に向けた現段階での支援を検討、実施している。	・職員が研修などをとおして、自己研鑽に励みながら、お子さんたち一人ひとりの発達段階や発達の過程、特性等に応じた支援をしていく。
2	・保護者とのこまめな連絡	・連絡帳でのやりとり、電話や個別懇談を行う中で、ひまわりの様子を伝えるだけでなく、家庭での様子や、保護者の悩みを聞きながら、こまめに情報共有できるようにしている。	・個別での対応も引き続き行う中で、保護者向け研修、クラス懇談会など、保護者同士が集れるよう引き続き行いながら、保護者同士の交流の場を設けていく。
3	・適切な個別支援計画の作成	・ガイドラインにおける4つの役割とともに、本人支援については5領域の支援から作成し、実施している。また、保護者との懇談の中で、個々のニーズを聞き取るとともに、その目標に向けた計画の作成に取り組んでいる。	・今後も、日々の療育の中でのお子さんの様子や、保護者とのやりとりの中で、お子さんたちの様子を把握していくとともに、計画の見直しも行いながら、お子さんにあった計画の作成、支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・きょうだい向けの支援	・夏休みの時期に、小学生のきょうだいがいるご家庭に対し、個々でお声をかけさせていただき、ご希望があれば、午後の1時間程見学をしていただいたことはあるが、イベントとして行う場合、内容や時期の選定、場所の確保など体制が十分に整っていない。	・まずは小学校などの長期休みの時期に、きょうだいの療育参加など行いながら、ひまわりについて知ってもらうことから始めていく。 ・ひまわりに通っているお子さんだけでなく、ごきょうだいについての相談、支援なども引き続き行っていく。
2	・保護者同士の交流の場の設定	・保護者研修や、クラス療育参加、クラス懇談会、保護者全体会など、保護者の集まる機会は設定しているが、保護者同士の交流に結びつきの難しい。	・クラス懇談会などにおいて、まずは職員が間に入りながら、交流の機会をつくっていく。 ・テーマ別の座談会の開催など、保護者室の積極的な活用を行っていく。
3	・地域との交流	・保育所や認定こども園、幼稚園等との交流では、それぞれでの調整が必要となるための難しさがある。	・近隣の公園などで、地域のお子さんたちと一緒に遊ぶ機会をつくっていくことから、地域の方との交流を始めていく。